



12月定例会

常任委員会
議案審査

12月23日



予算決算常任委員会審査の様子

◎庶務課
問【財産管理経費】電気料金が上がっているが、節電の考えは。
答 庁舎蛍光灯のLED化を進めている。電気料金の契約先も状況を見ながら切り替えるなどの対応をしている。

◎道路河川課
問【除雪対策事業】除雪関係対策事業費が増額となっているが内訳は。
答 消雪施設稼働時間延長に伴う電気料金3200万円の増額と、除雪体制拡充に伴う委託料720万円の増額補正。

◎子ども育成課
問【飯山市子ども館等運営事業】相談業務が増えているようだが、相談内容はどのようなものか。相談窓口が子ども館にあるのは周知されているか。
答 市役所内には家庭相談の拠点があるが、子育て支援センターにも家庭児童相談員が1名常駐している。子育てに関するさまざまな相談を受け、相談を受けられるための窓口は多く設けている。

◎保健福祉課
問【母子保健事業】出産特別給付金10万円を20万円にするという市長公約があったが、国の出産・子育て応援交付金を充当し、合わせて20万円にするの解釈はどうか。
答 国の補正予算でこの事業が示されたため、今までの出産特別給付金10万円にプラスし合計20万円です。令和5年1月から始めたい。

議案第129号 令和4年度飯山市一般会計補正予算(第10号)

委員からの主な質問および意見と市からの説明について抜粋して掲載します。

予算決算常任委員会

議案第112号 令和4年度飯山市一般会計補正予算(第9号)

一般質問

12月20日～22日

14名の議員から市政に対する一般質問が行われました。質問の一部を抜粋しての掲載ですが、内容は各議員において編集しております。掲載の順番は質問順です。

正副議長につきましては申し合わせにより、任期中の一般質問は行わないこととしております。



市長の政治姿勢と行動について



佐藤正夫議員

問 市長は豪雪地は大変で住みにくい、豪雪で人口が減ると日本中に情報発信しているがいかがなものか。
答 結果として日本中に知らせていることになるのは否定しないが、同時に雪害対策も発信している。

問 市長は人口減少を自分なら止められると発言しているが、できるのか。
答 任期中に転入超を達成するつもりで日々努力する。

問 市長が特命で途中採用した会計年度任用職員について、他の職員は遠慮で何も注意できない。気を付けたほうが良いと思うが。
答 そのようなことはないと思う。

問 ホームページに市長記者会見の未定稿の原稿を載せたが、認められるのか。
答 本来よくないが発表を急いでいた。今後気を付ける。

問 公約の副市長二人制は取り下げ、任期中は一人で行くと宣言したかどうか。
答 当面一人でというのは、二人である必要性を説明できない以上はするつもりはないということ。

問 信越自然郷に対する新市長の展望をお聞かせ。
答 9市町村のハブ的役割を担う新幹線飯山駅の位置づけと、知名度アップのために各市町村との関係の構築、アジア圏のインバウンド誘致を進めたい。

広域観光への展望および金融経済教育について



高澤富士子議員

問 信越自然郷に対する新市長の展望をお聞かせ。
答 9市町村のハブ的役割を担う新幹線飯山駅の位置づけと、知名度アップのために各市町村との関係の構築、アジア圏のインバウンド誘致を進めたい。

問 サイクルツーリズムの現状と将来像をお聞かせ。
答 サイクリングエリアとして国内外で高い評価を得ている。観光局を中心に旅行会社との連携、官民でソフト・ハード面の環境整備をすすめている。道の駅に開業予定のアクティビティ拠点の活用、サイクルトレイン、環境健康、教育、防災各分野でも持続可能な自転車車の活用を図っていく計画を策定中。

問 小中学校での経済教育の必要性をお聞かせ。
答 一部の小学校では税務署等関係機関による租税に関する講義を行っている。将来に備え、金融や経済を学ぶことは社会や政治の状態を理解する一助になる。子ども達の視野を広げ、人生をより豊かにするため今後も継続していきたい。

問 観光振興の重要性について、新幹線との連携を含めた考えをお聞かせ。
答 新幹線と信越自然郷を結び付け、東京・大阪方面からのインバウンドを考える。行政も一生懸命やっていく中で、民間も元気をだしている。工夫をしてみたい。

観光の重要性 国体開催の取組 災害防止対策



高橋達幸議員

問 観光振興の重要性について、新幹線との連携を含めた考えをお聞かせ。
答 新幹線と信越自然郷を結び付け、東京・大阪方面からのインバウンドを考える。行政も一生懸命やっていく中で、民間も元気をだしている。工夫をしてみたい。

問 国体開催に向けた取組みの計画状況をお聞かせ。
答 担当部署設置に向けた協議を進め、また来年度は準備委員会を設立したい。宿泊施設の対応等は、地域関係者にも準備委員会に加わっていただき連携を図りたい。ジャンプ台改修等は多額の費用が必要。県へ財政的支援の拡充や県営施設への移行なども要望していく。

問 皿川樋門撤去時期は。
答 時期は示されていないが、早急の撤去を要望していく。

問 避難所の対応について収容人数の訂正確認が必須では。
答 円滑な避難所運営のため避難所ごとにより実態に即した収容人数を検討していくとともに、物資の調達数量も適切に設定し、洪水時の指定避難所を中心に進めていく。

問 令和5年度の予算編成にあたっては、令和4年度の地方財政計画を下回らないよう、実質的には同水準を確保するとの考えが示されている。国の動向についてどのように見ているかお尋ねする。
答 8月に示された地方交付税の概算要求では同水準を確保とあり前年度予算比0.8割増となっている。今後も国・県の動向を注視していきたい。

令和5年度予算編成方針と重点施策について



小林喜美治議員

問 令和5年度の予算編成にあたっては、令和4年度の地方財政計画を下回らないよう、実質的には同水準を確保するとの考えが示されている。国の動向についてどのように見ているかお尋ねする。
答 8月に示された地方交付税の概算要求では同水準を確保とあり前年度予算比0.8割増となっている。今後も国・県の動向を注視していきたい。

問 新たな施策の事業化については、第6次総合計画との整合性をはかり、事業に必要な特定財源の確保など、限られた財源の中で、経費の削減も含め進める。
答 新たな施策の事業化については、第6次総合計画との整合性をはかり、事業に必要な特定財源の確保など、限られた財源の中で、経費の削減も含め進める。

本会議を傍聴する方へ (新型コロナウイルス感染拡大防止) 本会議については「iネット飯山」での放送および「YouTube」にて動画配信を行っております。本会議を傍聴される方は、席の間隔をあけてお座りいただき、必ずマスクを着用ください。(入場者数の制限がある場合があります)

令和5年3月定例会 会期日程(予定) 招集・議案上程 2月22日(水) 一般質問 3月3日(金) 各常任委員会審査 3月8日(水) 委員長報告・採決 3月20日(月)

飯山市議会本会議動画配信 受信方法 ○飯山市議会ホームページ 本会議動画配信ページ ○YouTube「飯山市議会」チャンネル こちらのQRコードから

市議会との意見交換をしませんか 飯山市議会では、市政全般について市民の皆さまの意見を直接伺いする場として、各種団体の皆さまとの意見交換会を開催しています。ご希望がありましたら議会事務局までお申し出ください。

水害対策は市民
目線で・伝統産
業の支援



村松正勝議員

問 今後の木島地区・常盤地区治水対策の市長の考えは。
答 特に被覆型堤防と河川敷の立木の撤去を国へ要望し進めていく。

問 今後の千曲川・樽川改修は。国が行う蓮の遊水地整備、静岡・常郷の堤防整備、戸狩狭窄部の河道掘削。県では、下境堤防は令和2年度完成。桑名川の堤防整備。樽川は千曲川同等の整備が完了し、現時点で千曲川の増水による影響対策での改修計画はない。
問 危機管理防災監の仕事は。
答 最大の業務は市長に避難に関する指示の適切な進言を行うこと。

問 秋津地区の蓮以外に遊水地の計画はあるか。
答 現在の所なし。

問 川底の土砂堆積の把握は。市では把握はしていないが国では5年に1度また、氾濫注意水位以上になったときに河川断面の計測をしている。
問 伝統産業向けプレミアム付きクーポン券発行を望むが。
答 関係事業者・関係団体等と効果のある支援事業について相談していきたい。

問 子育て・高齢者若者支援について
問 子育てと仕事で両立できないよう年度途中でも、保育園の入所ができる体制作りを。保育士の確保のために会計年度任用職員の待遇改善を考えると、それでも保育士が足りないのなら正規の保育士を採用してはどうか。
答 来年の4月に保育士の正規職員1名を採用。会計年度任用職員の処遇改善は、財政面への影響や他自治体の取扱いを調査し真剣に研究検討していきたい。正規職員の保育士については、今後とも適切な人員配置に努力をする。

問 高齢者共同住宅についてどのように考えているのか。
答 近隣の事例把握やニーズ調査を行い、整備計画を立てたい。冬期間の避難訓練という位置づけで共同住宅に住む実証試験の検討に着手したい。
問 若者の就労支援について、きめ細かに行うための担当部署を設け担当者の配置などを考えてはどうか。
答 企業説明会等の開催の他にどんな形で市が携われるのか、ハローワークなど関係者から要望を聞き今後考えたい。

子育て・高齢者
若者支援について



常田徳子議員

問 現在検証中の事業は。定期的経費を除く全事業を評価するが、現在駅前ホテルの行政資料を読み込み中。
問 今後の検証事業で事業形態に対応する「見える化」はなされるのか。
答 様々な要素を取り入れた検証が必要と考える。

問 一例で信州いいやま観光局の場合決算書、市所有の資産額、出向市職員の給与の按分額、経済効果額が「見える化」の資料として必要と思うが。
答 検証指標の1つになる。コロナやエネルギー価格高騰下での事業者支援は。
問 様々な影響の事業者が多い事は認識している。効果的な支援を考えていく。
問 立ヶ花を浚渫すると飯山に大量の水が来る。現状は。
答 浚渫は一部実施したが、工事は上流下流のバランスを取りながら進めている。

問 特養の入居は必ず1人だが、サポート家族として夫婦が入居または入居に準ずる対応という運用ができないか。
答 運営している北信広域連合に伝えていく。

問 現状検証中の事業は。定期的経費を除く全事業を評価するが、現在駅前ホテルの行政資料を読み込み中。
問 今後の検証事業で事業形態に対応する「見える化」はなされるのか。
答 様々な要素を取り入れた検証が必要と考える。

問 一例で信州いいやま観光局の場合決算書、市所有の資産額、出向市職員の給与の按分額、経済効果額が「見える化」の資料として必要と思うが。
答 検証指標の1つになる。コロナやエネルギー価格高騰下での事業者支援は。
問 様々な影響の事業者が多い事は認識している。効果的な支援を考えていく。
問 立ヶ花を浚渫すると飯山に大量の水が来る。現状は。
答 浚渫は一部実施したが、工事は上流下流のバランスを取りながら進めている。

問 特養の入居は必ず1人だが、サポート家族として夫婦が入居または入居に準ずる対応という運用ができないか。
答 運営している北信広域連合に伝えていく。

事業検証・事業
者支援・水害対
策・特養と夫婦



高橋春三議員

問 蓮地区の遊水地計画の現在の状況をお聞かせ。
答 8月に実施した意向調査をまとめ、調査結果を各区へ説明し国とともに進めていく。
問 蓮沖の50町歩は、数百年に渡り先祖代々が開いた血と汗の結晶。ある方が下流域の人たちのための苦渋の選択と言われた。この事実を忘れずに進めてほしいがどうか。
答 住民の立場に立ち、想いをくみ取り進める。

問 清川から上流の千曲川左岸無堤地区は令和元年台風で大被害を受けた。築堤の状況は。
答 国による堤防整備の計画が進められ、この秋から境界立会が行われている。
問 不登校の生徒が増加している。全国共通の課題と思うが。
答 不登校の生徒が増加している。全国共通の課題と思うが。

問 市教委では教育支援センターを設置し、居場所となると同時に自己肯定感を高める場にしたいと考えている。
問 子育て支援の伴走型相談支援、出産子育て応援交付金支援が国で可決。その内容は。
答 さらに切れ目のない厚い対応と、妊娠・出産時に合わせて10万円分の支援を行う。

問 市からの後援会長を務めた方をプロジェクト推進員として雇用した事に対し批判の声が聞こえるが受け止めはどうか。
答 批判があったとすればしっかり受け止めさせていたたく。
問 子育て支援への取組は。
答 出産特別給付金を10万円から20万円へ増額。18歳までの医療費完全無料化、給食費の無償化については段階的に、いずれも4月から実施してまいりたい。

問 市道の劣化や破損が多くみられるが対応はどうか。
答 今後も適切に点検・診断を行い、財源確保に努めながら計画的に整備を進めたい。
問 乗合タクシーは民間の路線バスエリアの住民は利用ができませんと聞く。支援策は。
答 利便性向上のためにどのような方策が取れるか路線バス事業者等と検討を進めたい。

問 市民の声が市政に反映できるようSNSを利用する自治体がある。飯山市ではどうか。
答 多様な意見を取込めるよう活用に向けて進めたい。

千曲川流域治水
不登校、少子化
子育て支援



西澤一彦議員

問 選挙で副市長を2人制にし、1人は女性にと公約されたが、人口2万人に満たない市政の現状では職員との連携がしっかり機能すれば1人で十分に思うが、2人制についての真意をお聞かせ。
答 公約に掲げた政策を4年間で実現するためには相当膨大な仕事量になると思い2人制を唱えたが、就任以来職員の仕事力が極めて高いために1人制でいけると判断し、1人なら公約に掲げた女性副市長を任命すべく議会に諮りたいと考えている。

問 人口減少に伴い全国各市町村では行政改革を進めている現実で、当議会でも22名から16名に削減し、さらに検討している現状であるので副市長2人制は時代に逆行と感じるので棚上げし、市長がスローガンに掲げている「本気でやる」思いで、1人制で取組まれるべきと思うが。
答 何があるか解らないという意味では先のことは言えませんが、今は任期中は1人制でやっていくつもりである。

問 市長の後援会長を務めた方をプロジェクト推進員として雇用した事に対し批判の声が聞こえるが受け止めはどうか。
答 批判があったとすればしっかり受け止めさせていたたく。
問 子育て支援への取組は。
答 出産特別給付金を10万円から20万円へ増額。18歳までの医療費完全無料化、給食費の無償化については段階的に、いずれも4月から実施してまいりたい。

問 市道の劣化や破損が多くみられるが対応はどうか。
答 今後も適切に点検・診断を行い、財源確保に努めながら計画的に整備を進めたい。
問 乗合タクシーは民間の路線バスエリアの住民は利用ができませんと聞く。支援策は。
答 利便性向上のためにどのような方策が取れるか路線バス事業者等と検討を進めたい。

問 市民の声が市政に反映できるようSNSを利用する自治体がある。飯山市ではどうか。
答 多様な意見を取込めるよう活用に向けて進めたい。

これからの市政
運営について



吉越利明議員

問 ホテル補助金の今年度分予算1億6500万円が使われない場合、どうなるのか。
答 債務負担行為の3年度内で予算の計画を立てる。
問 現在、補助金についてホテル側と協議をしているか。
答 補助金交付申請がされてから内容を検討し交付する。

問 茨城県が国の諮問委員会に新型コロナウイルスを2類からインフルエンザと同じ5類にするよう緊急要望した。私も弱毒化して欲しいと思う。学校での黙食などは過剰対策ではないか。
答 感染者数や症状について市は独自の見解を持つ立場にない。児童・生徒の感染状況を鑑み、国県の指針に基づいて対策を継続していく。

問 子どもたちは学校の図書館で多くの本を手にとって数多く提供できないか。
答 教育予算全体を通して総合的に検討していく。
問 図書館司書の兼務を解消して子供たちと触れ合う時間を増やすことはできないか。
答 司書の重要性は分かるが小学校統合があり難しい。

問 選挙で副市長を2人制にし、1人は女性にと公約されたが、人口2万人に満たない市政の現状では職員との連携がしっかり機能すれば1人で十分に思うが、2人制についての真意をお聞かせ。
答 公約に掲げた政策を4年間で実現するためには相当膨大な仕事量になると思い2人制を唱えたが、就任以来職員の仕事力が極めて高いために1人制でいけると判断し、1人なら公約に掲げた女性副市長を任命すべく議会に諮りたいと考えている。

問 人口減少に伴い全国各市町村では行政改革を進めている現実で、当議会でも22名から16名に削減し、さらに検討している現状であるので副市長2人制は時代に逆行と感じるので棚上げし、市長がスローガンに掲げている「本気でやる」思いで、1人制で取組まれるべきと思うが。
答 何があるか解らないという意味では先のことは言えませんが、今は任期中は1人制でやっていくつもりである。

問 市長の後援会長を務めた方をプロジェクト推進員として雇用した事に対し批判の声が聞こえるが受け止めはどうか。
答 批判があったとすればしっかり受け止めさせていたたく。
問 子育て支援への取組は。
答 出産特別給付金を10万円から20万円へ増額。18歳までの医療費完全無料化、給食費の無償化については段階的に、いずれも4月から実施してまいりたい。

一般質問

子ども医療費・
学校給食・補聴
器助成について



萩原章一議員

問 18歳までの子ども医療費窓口負担の完全無料化を歓迎する。その効果及び経費は。
答 保護者の経済的負担の軽減と必要に応じた医療機会の保障。経費は約1億4500万円。

問 学校給食の無償化を段階的に実施との力強い表明があった。市の学校給食はふるさと教育そのもの。財源にはふるさと納税の基金活用がふさわしいと考えるが。
答 無償化した場合小中学校で毎年約7000万円の財源が必要。基金の活用、国や県にも財源確保を呼びかけたい。

問 統合小学校の通学計画について児童の負担・ストレスをできるだけ軽くする授業・教育活動にエネルギーをたっぷり注げる環境が大切に思うが。
答 それも大切だが体づくりも大切。議論を深めていきたい。

問 加齢性難聴の補聴器使用は、高齢者のフレイルや認知症のリスク予防に効果的だと確認されてきた。購入助成についてその後の検討はしたのか。
答 18歳以上の軽度・中度難聴者の補聴器購入助成を来年度から実施したい。

問 18歳までの子ども医療費窓口負担の完全無料化を歓迎する。その効果及び経費は。
答 保護者の経済的負担の軽減と必要に応じた医療機会の保障。経費は約1億4500万円。

問 学校給食の無償化を段階的に実施との力強い表明があった。市の学校給食はふるさと教育そのもの。財源にはふるさと納税の基金活用がふさわしいと考えるが。
答 無償化した場合小中学校で毎年約7000万円の財源が必要。基金の活用、国や県にも財源確保を呼びかけたい。

なちゅらの運営
とお米の販売促
進、駅前ホテル



山崎武雄議員

問 なちゅらの利用状況と使用料の支払い方法の拡充を。
答 ホールの稼働率は60・6割、県内の松本市、飯田市に並ぶ高い利用となっている。支払い方法については拡充し、令和5年度よりキャッシュレス決済の導入を予定している。

問 有害鳥獣の電気柵補助金については個人でも申請できるように拡充しては。
答 総合的にとらえ、財源の問題もあるため、令和5年度以降制度の見直しを検討していく。

問 お米の安全性や魅力発信に係るトップセールスの要望とブランド化の取組は。
答 市長として積極的に対応していく。ブランド化については、いっそうの推進を図る。

問 駅前ホテル補助金に係る債務負担行為の期間と金額、令和4年度予算と支出は。
答 債務負担の期間は令和4年度から6年度の3年間、宿泊施設3億円、健康増進2億円である。令和4年度予算は、それぞれ1億円と6500万円であり、本年度の補助金に係る支出見込みはない。

問 現在検証中の事業は。定期的経費を除く全事業を評価するが、現在駅前ホテルの行政資料を読み込み中。
問 今後の検証事業で事業形態に対応する「見える化」はなされるのか。
答 様々な要素を取り入れた検証が必要と考える。

問 一例で信州いいやま観光局の場合決算書、市所有の資産額、出向市職員の給与の按分額、経済効果額が「見える化」の資料として必要と思うが。
答 検証指標の1つになる。コロナやエネルギー価格高騰下での事業者支援は。
問 様々な影響の事業者が多い事は認識している。効果的な支援を考えていく。
問 立ヶ花を浚渫すると飯山に大量の水が来る。現状は。
答 浚渫は一部実施したが、工事は上流下流のバランスを取りながら進めている。

選挙公約と経済
対策について



上松永林議員

問 公約とは当選した時に行う事業や施策を公衆に約束することと思うが、市長が思う選挙公約の概念・意味は。
答 同じ考えです。
問 公約の実現については。
答 全ての公約を実現できるのはまれ。個々の事例では答えられるが、一般論としては答えにくい。

問 目指す飯山市づくりは。安心して住み続けられる地域を創る。今あるものを大事に。基盤産業は農業と観光。選挙戦で訴えた変化とは。変化は生き残り戦略。
問 蓮区遊水地計画の対応は。国と連携して進める。
問 「地域中小企業振興条例」の内容と予定については。
答 5年度中には策定したい。市が中小企業の振興に責任を持つことを明記。多くの意見を聞きより良い物を作りたい。

問 地域に根付く企業は宝。産業振興の主体は地域に根付く企業商店。それらの事業所を育成するのが振興条例。
答 同感です。

問 現在検証中の事業は。定期的経費を除く全事業を評価するが、現在駅前ホテルの行政資料を読み込み中。
問 今後の検証事業で事業形態に対応する「見える化」はなされるのか。
答 様々な要素を取り入れた検証が必要と考える。

問 一例で信州いいやま観光局の場合決算書、市所有の資産額、出向市職員の給与の按分額、経済効果額が「見える化」の資料として必要と思うが。
答 検証指標の1つになる。コロナやエネルギー価格高騰下での事業者支援は。
問 様々な影響の事業者が多い事は認識している。効果的な支援を考えていく。
問 立ヶ花を浚渫すると飯山に大量の水が来る。現状は。
答 浚渫は一部実施したが、工事は上流下流のバランスを取りながら進めている。

問 特養の入居は必ず1人だが、サポート家族として夫婦が入居または入居に準ずる対応という運用ができないか。
答 運営している北信広域連合に伝えていく。

副市長の2人制
について



山崎一郎議員

問 選挙で副市長を2人制にし、1人は女性にと公約されたが、人口2万人に満たない市政の現状では職員との連携がしっかり機能すれば1人で十分に思うが、2人制についての真意をお聞かせ。
答 公約に掲げた政策を4年間で実現するためには相当膨大な仕事量になると思い2人制を唱えたが、就任以来職員の仕事力が極めて高いために1人制でいけると判断し、1人なら公約に掲げた女性副市長を任命すべく議会に諮りたいと考えている。

問 人口減少に伴い全国各市町村では行政改革を進めている現実で、当議会でも22名から16名に削減し、さらに検討している現状であるので副市長2人制は時代に逆行と感じるので棚上げし、市長がスローガンに掲げている「本気でやる」思いで、1人制で取組まれるべきと思うが。
答 何があるか解らないという意味では先のことは言えませんが、今は任期中は1人制でやっていくつもりである。

問 市長の後援会長を務めた方をプロジェクト推進員として雇用した事に対し批判の声が聞こえるが受け止めはどうか。
答 批判があったとすればしっかり受け止めさせていたたく。
問 子育て支援への取組は。
答 出産特別給付金を10万円から20万円へ増額。18歳までの医療費完全無料化、給食費の無償化については段階的に、いずれも4月から実施してまいりたい。

問 市道の劣化や破損が多くみられるが対応はどうか。
答 今後も適切に点検・診断を行い、財源確保に努めながら計画的に整備を進めたい。
問 乗合タクシーは民間の路線バスエリアの住民は利用ができませんと聞く。支援策は。
答 利便性向上のためにどのような方策が取れるか路線バス事業者等と検討を進めたい。

問 市民の声が市政に反映できるようSNSを利用する自治体がある。飯山市ではどうか。
答 多様な意見を取込めるよう活用に向けて進めたい。

問 選挙で副市長を2人制にし、1人は女性にと公約されたが、人口2万人に満たない市政の現状では職員との連携がしっかり機能すれば1人で十分に思うが、2人制についての真意をお聞かせ。
答 公約に掲げた政策を4年間で実現するためには相当膨大な仕事量になると思い2人制を唱えたが、就任以来職員の仕事力が極めて高いために1人制でいけると判断し、1人なら公約に掲げた女性副市長を任命すべく議会に諮りたいと考えている。

駅前ホテル、学
校での感染対策
教育予算を



松本淳一議員

問 ホテル補助金の今年度分予算1億6500万円が使われない場合、どうなるのか。
答 債務負担行為の3年度内で予算の計画を立てる。
問 現在、補助金についてホテル側と協議をしているか。
答 補助金交付申請がされてから内容を検討し交付する。

問 茨城県が国の諮問委員会に新型コロナウイルスを2類からインフルエンザと同じ5類にするよう緊急要望した。私も弱毒化して欲しいと思う。学校での黙食などは過剰対策ではないか。
答 感染者数や症状について市は独自の見解を持つ立場にない。児童・生徒の感染状況を鑑み、国県の指針に基づいて対策を継続していく。

問 子どもたちは学校の図書館で多くの本を手にとって数多く提供できないか。
答 教育予算全体を通して総合的に検討していく。
問 図書館司書の兼務を解消して子供たちと触れ合う時間を増やすことはできないか。
答 司書の重要性は分かるが小学校統合があり難しい。

問 現在検証中の事業は。定期的経費を除く全事業を評価するが、現在駅前ホテルの行政資料を読み込み中。
問 今後の検証事業で事業形態に対応する「見える化」はなされるのか。
答 様々な要素を取り入れた検証が必要と考える。

問 一例で信州いいやま観光局の場合決算書、市所有の資産額、出向市職員の給与の按分額、経済効果額が「見える化」の資料として必要と思うが。
答 検証指標の1つになる。コロナやエネルギー価格高騰下での事業者支援は。
問 様々な影響の事業者が多い事は認識している。効果的な支援を考えていく。
問 立ヶ花を浚渫すると飯山に大量の水が来る。現状は。
答 浚渫は一部実施したが、工事は上流下流のバランスを取りながら進めている。

問 特養の入居は必ず1人だが、サポート家族として夫婦が入居または入居に準ずる対応という運用ができないか。
答 運営している北信広域連合に伝えていく。